



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 アジアパイルホールディングス株式会社
コード番号 5288 URL <https://www.asiapile-hd.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長最高執行役員 (氏名) 黒瀬 修介

問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 鈴木 秀明

TEL 03-5843-4173

四半期報告書提出予定日 2024年11月13日

配当支払開始予定日

2023年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	49,366	8.8	3,289	9.3	2,906	17.7	2,126	15.8
2023年3月期第2四半期	54,125	18.2	3,627	84.1	3,533	76.2	2,525	79.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,277百万円 (11.4%) 2023年3月期第2四半期 3,700百万円 (92.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	55.82	
2023年3月期第2四半期	66.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	95,127	47,937	45.8	1,144.65
2023年3月期	99,229	45,169	41.6	1,084.01

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 43,598百万円 2023年3月期 41,288百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		10.00		20.00	30.00
2024年3月期		15.00			
2024年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭
2023年10月27日の「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました配当予想に変更はありません。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	4.8	5,000	20.4	4,500	23.0	3,000	27.4	78.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	38,089,792 株	2023年3月期	38,089,792 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	873 株	2023年3月期	805 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	38,088,942 株	2023年3月期2Q	38,089,024 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、社会経済活動の正常化が進み景気の緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、世界的な金融引締めや、物価高騰、ウクライナ情勢の長期化など、先行き不透明な状況が続く展開となりました。

当社グループが事業展開しているアセアン地区においては、ベトナムでは外需低迷や電力不足による生産活動の停滞、政府の規制強化による不動産・建設市場低迷等により経済成長率は大きく減速しました。また、ミャンマーでは、クーデター以降、経済全体の停滞が続いています。

当期間における各セグメントの概況は以下の通りです。

① 国内事業

国内事業では、大型物流施設・半導体関連工場や都市部の大型再開発、国土強靱化関連の公共工事など、先行きの建設需要は底堅いものの、原材料価格高騰に伴う建設コストの大幅な上昇から、施主とゼネコンとの価格調整に遅れが生じていることや、もともと人手不足にある中、2024年4月に適用される時間外労働の上限規制を見据え、ゼネコンサイドで工事余力を温存する動きも見られることから、建設工事自体の工程見直し、着工遅延が発生し、結果、国内コンクリートパイル業界の全体出荷量は前年同期対比大幅に減少しました。

このような動きは、特にコンクリートパイルのウェイトの大きい中小型工事案件で顕著であり、当社グループのコンクリートパイル出荷量も大きく減少しましたが、新工法「Smart-MAGNUM工法」を軸に、大型工事受注を中心とした積極的営業展開を継続しました。また、大型工事を主体とする場所打ち杭・鋼管杭の売上高は前年同四半期対比で堅調に推移しました。採算面では、施工効率・工場生産性の改善に努め、また、原材料価格上昇に伴う販売価格改訂に取り組みました。

結果、国内事業の売上高は432億16百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益は31億83百万円（同0.6%減）となりました。

② 海外事業

海外事業では、ベトナムの事業子会社Phan Vu Investment Corporationは、ベトナム政府の金利引き下げ等の景気浮揚策により、金融面の収支は改善しつつありますが、不動産・建設市場の低迷から業績は依然として低調に推移しました。また、ミャンマーの事業子会社VJP Co., Ltd. は事業活動がほぼ停止した状況が続きました。

結果、海外事業の売上高は62億33百万円（前年同四半期比27.2%減）、営業利益は1億81百万円（同65.3%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は493億66百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。利益面では、営業利益32億89百万円（同9.3%減）、経常利益29億6百万円（同17.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益21億26百万円（同15.8%減）となりました。

国内事業のコンクリートパイル需要の大幅減少や海外事業の経済停滞により前年同四半期比で減収減益とはいえ、営業利益並びに各段階利益については、当期の計画に対して堅調に推移しております。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ41億1百万円減少し、951億27百万円となりました。主な要因は、棚卸資産が合計で15億87百万円増加しましたが、現金及び預金が59億86百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が5億94百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ68億69百万円減少し、471億90百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が12億円、ファクタリング未払金が30億19百万円、借入金が13億71百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による増加21億26百万円、剰余金の配当による減少7億61百万円、為替換算調整勘定の増加5億67百万円、非支配株主持分の増加4億58百万円などの結果、前連結会計年度末に比べ27億67百万円増加し479億37百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月10日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,685	14,698
受取手形、売掛金及び契約資産	37,305	36,711
未成工事支出金	2,182	2,543
商品及び製品	6,435	7,583
原材料及び貯蔵品	2,161	2,239
その他	1,230	1,324
貸倒引当金	△1,512	△1,690
流動資産合計	68,487	63,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,257	9,336
その他（純額）	17,501	16,700
有形固定資産合計	25,758	26,037
無形固定資産		
のれん	104	94
その他	463	521
無形固定資産合計	568	615
投資その他の資産		
その他	4,453	5,104
貸倒引当金	△39	△39
投資その他の資産合計	4,414	5,065
固定資産合計	30,741	31,718
資産合計	99,229	95,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,077	14,876
ファクタリング未払金	12,334	9,315
短期借入金	9,263	8,462
1年内返済予定の長期借入金	1,763	1,789
未払法人税等	1,878	805
契約負債	987	1,215
賞与引当金	726	575
完成工事補償引当金	157	173
工事損失引当金	97	39
その他	3,529	3,051
流動負債合計	46,817	40,304
固定負債		
長期借入金	4,731	4,136
役員退職慰労引当金	237	223
退職給付に係る負債	863	882
その他	1,410	1,643
固定負債合計	7,243	6,886
負債合計	54,060	47,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,621	6,621
資本剰余金	8,706	8,706
利益剰余金	24,577	25,941
自己株式	△0	△0
株主資本合計	39,904	41,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	819	1,196
為替換算調整勘定	539	1,107
退職給付に係る調整累計額	24	25
その他の包括利益累計額合計	1,384	2,329
非支配株主持分	3,880	4,338
純資産合計	45,169	47,937
負債純資産合計	99,229	95,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	54,125	49,366
売上原価	45,443	41,201
売上総利益	8,681	8,164
販売費及び一般管理費	5,054	4,875
営業利益	3,627	3,289
営業外収益		
受取利息	5	26
受取配当金	52	50
持分法による投資利益	—	0
その他	99	86
営業外収益合計	157	164
営業外費用		
支払利息	213	443
その他	37	103
営業外費用合計	251	547
経常利益	3,533	2,906
特別利益		
固定資産売却益	29	17
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	39	17
特別損失		
固定資産除却損	12	13
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	14	13
税金等調整前四半期純利益	3,558	2,910
法人税等	969	891
四半期純利益	2,589	2,019
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	64	△107
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,525	2,126

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,589	2,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94	377
為替換算調整勘定	1,205	880
退職給付に係る調整額	△0	0
その他の包括利益合計	1,110	1,258
四半期包括利益	3,700	3,277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,350	3,072
非支配株主に係る四半期包括利益	349	204

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	45,565	8,559	54,125	—	54,125
セグメント間の 内部売上高又は振替高	113	—	113	△113	—
計	45,679	8,559	54,238	△113	54,125
セグメント利益	3,202	522	3,725	△98	3,627

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,132	6,233	49,366	—	49,366
セグメント間の 内部売上高又は振替高	83	—	83	△83	—
計	43,216	6,233	49,450	△83	49,366
セグメント利益	3,183	181	3,365	△75	3,289

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、のれんの償却額などが含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。